石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

桜が歓迎 新入生第一歩

石巻専修大学の2020年度の新入生が、桜のつぼみがほころぶキャンパスで大学生活をスタートさせた。本年度の入学者数は学部381人、大学院5人の計386人。本学体育館で予定していた入学式は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった。新入生は4月1日、3教室に分けて実施された「学生総合ガイダンス」に参加し、大学生としての第一歩を踏み出した。

期待のルーキー

今年も多くの1年次生が体育会各部に入部した。なかでも飛躍が期待される硬式野球部、女子競走部のルーキーを紹介する。

硬式野球部

30人が入部

甲子園経験 柳橋投手も

硬式野球部には30人が入部した。注目は高校2年時に新潟県大会を制し、夏の甲子園を経験した投手の柳橋悠生さん（経営1・新潟県中越高）＝写真。「自信がある」と話す、伸びのあるストレートが武器だ。

「石巻専大には高校の先輩がいることもあり、何度か練習に参加した。良い雰囲気で野球をしていて、自分に合っていると思った」と言う。「力で押せる投手を目指し、得意のストレートに磨きをかけたい。チームのエースになれるように努力する」と意気込みを語った。

女子競走部

成長誓う3人

左から佐々木さん、フォックス真島さん、長谷川さん

女子競走部にはフォックス真島新菜さん（経営1・青森県八戸学院光星高）、長谷川日菜さん（人間1・青森県弘前学院聖愛高）、佐々木未奈さん（経営1・宮城県一迫商業高）の3人が入部した。

フォックス真島さんは、高校3年時に出場した東北総体の1500メートルで大学生を抑え優勝した経験を持つ。「スピードには自信があるので、スタミナ強化が今後の課題。石巻専大で成長したい。大学は練習量も増えるので、まずは先輩についていけるように努力したい」と話す。

「いい走り方をしている。自信をつければ化ける可能性を秘めている」と泉田利治監督が評す佐々木さん。「文武両道を目指して頑張りたい。全日本大学駅伝のメンバーに入り、応援してくれている両親に恩返しがしたい」と語った。

理工・杉江さんがenPiT参加

修了認定証を手に笑顔を見せる杉江さん

高度IT人材の育成を目的に、文部科学省が推進する「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）」。同プロジェクトにおける「セキュリティ分野」の研修プログラムに、理工学部情報電子工学科4年次の杉江勝馬さん（愛知県富田高）が参加した。

昨年10月から約3カ月かけて「特別講義（遠隔授業）」を受けた後、2020年1月11～13日の日程で「演習科目」を受講。高度な専門知識を学んだ証しとして、修了認定証が授与された。

修了認定証を手にした杉江さんは「研修では、安全なネットワークの構築について他大学の学生たちと議論し、実際に効果検証を行った。知識が深まったことで、卒業後はシステム開発に携わりたいという目標が明確になった」と、充実した研修を振り返った。

経営学部 情報マネジメント学科 2021年4月開設（設置構想中）

尾池守学長の祝辞

尾池学長のメッセージ動画を大学ホームページで公開中

生涯学び続ける人に

石巻専修大学ならびに大学院修士課程に入学・進学された皆さん、誠におめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

石巻地域唯一の高等教育機関である本学は、4月1日に創立32年を迎えました。私立大学の強みは、各大学の建学の精神に基づいた自主的かつ多様な教育研究活動の推進にあります。本学は、専修大学の建学の精神「社会に対する報恩奉仕」の下、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を理念に掲げ、「学生第一主義」の大学運営を行っています。

建学の精神と理念を踏まえ、本学では社会に送り出したい人物像を「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人」と定めています。「自分の役割を自覚して」とは、自分自身を他人の視点から見つめることのできる人を意味します。

今般の新型コロナウイルスもそうですが、私たちが社会で直面する問題の多くには、必ずしも明確な答えが用意されているわけではありません。そこで本学ではゼミや卒業研究を通じて、与えられた課題に対して自分なりの答えを見いだす方法を学びます。日進月歩する社会のなかで最善の答えを見いだすには新たな手法や知識を継続して吸収する必要があり、そのためにも「生涯にわたって学び続けることができる人」になっていただきたいと思います。

また、他学科の科目を履修できる学科間ジョイント・プログラムや、経営学部の学生が専修大学で半年間学ぶ国内留学制度など、社会知性を広く身につけるための多様な学びの道を用意しています。社会人として求められるコミュニケーション能力や組織運営能力を養うために、自発的な課外活動や研究活動、サークル活動のサポートにも力を入れています。授業や課外活動に積極的に参加されることを期待します。

本学は「多様な学びの力で、学生一人一人が夢の実現に向けて飛躍できる大学」を目指しています。学ぶ楽しさを知り、交友を広げ、夢や目標を持って大学生活を楽しんでください。これからの大学生活が、皆さんにとって実り多いものであることを祈念しています。

新専任教員紹介

4月1日付で新たに6人が専任教員となった。氏名、職名、所属学科、担当科目は次の通り。

◆理工学部

梅山光広教授
機械工学科「自動車工学Ⅰ・Ⅱ」
都合により写真は掲載いたしません

辻大和准教授
生物科学科「野生動物保護論」
都合により写真は掲載いたしません

◆経営学部

浅沼大樹教授
経営学科「意思決定システム論」
都合により写真は掲載いたしません

佐藤平国助教
経営学科「マーケティング基礎」
都合により写真は掲載いたしません

◆人間学部

遠藤郁子教授
人間文化学科「日本文学研究」
都合により写真は掲載いたしません

佐藤誠子准教授
人間教育学科「心理学概論」
都合により写真は掲載いたしません

高大産連携 Pepper 社会貢献プログラム

ソフトバンクHPで紹介

本学がソフトバンクロボティクス株式会社と共同で取り組む「Pepper社会貢献プログラム」が、同社のホームページ内で紹介された。

同プログラムは、本学が展開する高大産連携プロジェクトの一つで、人型ロボット「Pepper」を活用して、人口減少と高齢化が進む石巻地域の課題解決を目指す取り組みとして2017年4月に始まった。

詳細はこちらから

本学を含む24団体の活動の詳細は『Pepper社会貢献プログラムソーシャルチャレンジ活動実績レポート2017―2020』にまとめられている。レポートでは、本学が観光案内や出前授業、地域とのコミュニケーションなど多様な活動を行っていることを伝えるとともに、「圏域の高校、企業との3者連携を行い、地域資源を活かしながら若い世代の人材育成及び地域活性化」に寄与する活動として、その意義についても言及。取り組みに至る経緯や課題、学生たちがプロジェクトを通じて得た気づきなども紹介している。